

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇〇八五三

広島市中区堺町一丁目二九一三〇三

TEL (〇八二) 二三五三〇五〇

FAX (〇八二) 二三五三〇五二

e-mail

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp



広島も梅雨入り、あちこちで紫陽花が咲いています。

過積載の根絶、受け取り単価の改善実現させよう！

広島ダンフ支部が定期大会を開催 (6月2日)

建交労広島ダンフ支部は、六月二日(日)に広島市内で第三七回定期大会を開催しました。大会には組合員五〇人以上が参加しました。

小林豊数議長挨拶に続いて、武田喜成事務局長が、経過報告と会計報告、新年度の運動方針等について報告・提案しました。

「使用促進について指導し、周知徹底する」

ダンフキャラバンで国交省・県庁など

組合員から調査した受け取り単価の実態のアンケート



広島ダンフ支部定期大会で挨拶する小林豊数委員長 (6月2日メルパルクにて)

**被爆79年世界大会
「建交労交流会 in 広島」が開催されます
ご参加ください!**

8月6日、今年是被爆79年を迎えようとしています。今年8月4日～6日まで、「原水爆禁止2024年世界大会・広島」が開催されます。

広島・長崎交互に開催

これに合わせて、世界大会に参加する建交労の組合員が参加する「建交労交流会 in 広島」を中央本部と広島県本部とで開催することとなりました。中央本部から各都道府県の建交労に通知が出されていますが、広島県内の各支部からも積極的にご参加ください。

○8月5日(月)午後5時30分
○ホテル「メルパルク」4階「松」
広島市中区基町6-30
(そごうの西隣です)
※広島の「黒い雨」裁判の原告より訴え、その他意見交流。

「組織建設推進委員」

制度が再スタート

建交労は、昨年の第25回定期大会で、「組織建設推進委員制度」を再スタートし、登録を呼びかけています。

県本部でも、登録を呼びかけ、現在四人が登録していますが、積極的な登録を呼びかけます。なお、七月四日(木)の午後五時より中央本部主催で「スタートアップ集会」がオンラインで開催されます。(詳細は別途)

徒然草

再び保険証の問題。岸田政権は今年一月には現行の保険証を廃止することを明らかにしていますが、先日「羽鳥慎一モーニングショー」(テレビ朝日)でこの問題を取り上げていた◆薬局に処方箋を持って薬を受け取りに行ったところ、処方箋は受け取ってくれたが『保険証がひもづけされているマイナ保険証でない』と処方することができない』と言われ、マイナンバーカードに登録したという市民の憤りの声を紹介していた。番組では薬局側が厚労省の指導を曲解していた「本部」の指示通りに対処したことが明らかに。のちにこの患者に謝罪していた◆言うまでもなくマイナンバーカード登録はあくまで任意であり、強制されるものではないことは明らか。これまでも、マイナ保険証に他人の情報がひもづけされていたり、マイナンバーカードが偽造されて、高額商品を買わされていたり、トラブルが多発しており、新聞の投書欄にもこれらのことを背景に「私はマイナンバーカードを持つことを拒否します」という「声」も紹介されている◆同番組のコメンテーターの玉川氏は「私は、マイナンバーカードは任意なので持っていません。保険証もひもづけせずに『資格確認証』を持つことにします」と明言していた◆膨大な個人情報報は莫大な儲けの元だけでなくどこでどう使われるか、自分も含めいまだ不安に思う人は多いのである。(M)

不当労働行為は許さない！興国産業 支部の闘いへの支援を要請しました

6・22広島県労連評議員会訴え

六月二二日(土)の午後一時より広島県労連の評議員会が開催され、建交労からは評議員二名がオンラインで参加しました。

一月の評議員会に続くもので、神戸議長の挨拶に続き、植永事務局長がこの間の傘下組合の闘いの経過報告を行いました。

建交労の山田書記長が興国産業支部の組合結成以後の闘いの報告と今後の支援要請を行いました。

パワハラ認識ない社長

昨年の三月に社長のひどいパワハラをやめさせようと労働組合を結成したにも触れ、「会社は労働基準監督署の指導で動画も見て



広島県労連の評議員会の様子
(6月22日ロードビルにて)

試験も受け、部長を窓口のパワハラ防止のため対策を行っている」と三月の団体交渉で回答しましたが、パワハラ当事者である社長にはパワハラ反省も認識もありません。また組合結成に対する報復として、「二〇二四年問題」を逆手に取り、組合員には「仕事をさせない」攻撃を行っており、多くの組合員の賃金は組合結成前と比べても一〇〇万円くらい少なくなっており、これについて社長は「これまではブラックに働かせてきたから、今後はホワイトに働いてもらう」という始末です。

不当労働行為の申し立て

これでは生活できないため、興国産業支部の門田久弘委員長らは、県の労働委員会に相談、担当者は「不当労働行為(不利益変更)」として納得できる内容ではないかと思う」と述べ、労働弁護団の弁護士にも相談し、労働委員会に申し立てを行い、建交労はもちろん、広島県労連や福山地区労の皆さんに闘いの支援要請を行いました。

2025「建交労フェスタ in 広島」

2025年6月6日(金)～8日(日)開催

全体会場は「広島国際会議場」を確保

第2回実行委員会を開催しました。

建交労フェスタは、三年に一度開催されていますが、二〇二二年の京都に続き、二〇二五年は広島で開催されることとなり、去る六月一日(火曜日)に第二回目の実行委員会が開催されました。来年度の六月六日(金)から八日(日)までの3日間で、三百人余りの仲間が広島に集う予定です。主会場(全体会場)については、中区平和公園内の「国際会議場」を使用することとなりました。フェスタの全体の企画内容については、次回の実行委員会以降に相談することになりました。

労災認定の取り組みは地協全体で力を合

わせて取り組もう

中国地協組織対策会議で意思統一

六月二〇日(木)、建交労中国地協は、組合員拡大のための「組織対策会議」を開催しました。久々の会議に四つの県本部から、八人が参加し活発に議論しました。

各県の組織実態を率直に出し合い、それぞれ闘いの教訓を出し合いました。事業団部会は、七月八日から一日までの「事業団キャラバン」を成功させること、そのための協力体制などについて確認しました。また労災認定では、岡山県や鳥取県在住の労働者の新規認定の体制を今後どのようにするか話合ふとともに、医療事情で、検査体制が縮小されている現状などから、労職支部の「広域支部」への方向性も検討する必要があります。中央の労職部会にも提起してゆく必要がある、などの提案があり、今後も注視してゆくことを確認しました。

今後の組合行動日程など

- 六・二八 網の目平和行進
- 六・二九 ダンプ支部合同役員会
- 七・四 建交労中央執行委員会(5日)
- 七・四 組織建設推進委員制度のスタートアップ集会(オンライン)
- 七・五 三原支部月例会
- 七・七 七タウオーク(高齢期運動連絡会)
- 七・八 中国地協事業団部会二〇二四年キャラバン島根行動
- 七・九 事業団キャラバン山口行動
- 七・一〇 事業団キャラバン広島行動
- 七・一一 岡山行動
- 七・一七 建交労フェスタ第2回実行委員会
- 七・二七 ダンプ支部合同役員会(予定)
- 八・三 広島県本部委員会
- (※午後から非核署名行動・元安橋)
- 八・四 国民平和行進が平和公園に到着
- 八・五 建交労交流会in広島(メルパルク)
- 八・六 被爆七九年(ヒロシマ)
- 八・九 被爆七九年(ナガサキ)
- 八・三一 建交労第二六回定期大会
- (9月2日)

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、「メール」やファクスでお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。お待ちしております。

ctg303.hiroshima@orange-plala.or.jp

Fax 〇八二―二三五―三〇五二